

平成 28 年度胃内視鏡検診従事者研修会の開催結果について

1 開催の経緯

- ・平成 28 年 2 月の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（以下、「国指針）」の一部改正により、胃がん検診の項目に胃内視鏡検査が追加となった。
- ・胃内視鏡検査を対策型検診として実施するためには、精度管理、検査手順、安全管理等について標準化された新しい実施体制を構築する必要がある。
- ・このため、胃内視鏡検査の実施体制の整備にむけ、今年度より、国庫補助を活用し、医師を対象とした研修会を開催することとした。

2 研修概要

(1) 実施機関

委託先：（公財）ちば県民保健予防財団

(2) 対象者

原則、千葉県内の市町村において胃がん検診の胃内視鏡検査を実施する医師

(3) プログラム 別添 1

一般社団法人日本消化器がん検診学会による「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル 2015 年度版（以下、「マニュアル）」の V の 10 に規定する研修カリキュラムに即した内容。

当日のカリキュラムは別添 1 のとおり。

3 平成 28 年度の開催結果

(1) 開催日時等

	日時	会場
①	11 月 26 日（土） PM 2:00～5:00	千葉市総合保健医療センター大会議室
②	11 月 27 日（日） AM 9:00～12:00	ちば県民保健予防財団講堂
③	11 月 27 日（日） PM 2:00～5:00	ちば県民保健予防財団講堂

(2) 開催における工夫点

- ・胃内視鏡検査の実施にあたっては、マニュアルを参考とするよう国指針で求められているが、消化器医師の中で認知度はまだあまり高くない。受講者には、検診実施にあたり参考とできるよう、マニュアルを印刷した資料を配布した。
- ・研修プログラムの検討や講師の選任にあたっては、ちば県民保健予防財団の消化器専門委員会で議論を行った。また当日の説明時は、スライド・動画等を用いて、検診実施にあたり注意すべき重要な点や手技等をわかりやすく解説した。
- ・講習会終了後に、チェックテストを行い、受講者の理解度を確認した。

(3) 研修修了者数 別添 2

平成 28 年度修了者：23 市町村、計 211 名

なお、研修修了者の一覧（氏名、所属機関、電話番号）は、内視鏡検査の導入を検討する市町村の参考となるよう、各市町村担当課に送付予定である。

(4) 受講者アンケート結果

- ・研修の内容については、受講者の90%が満足と回答した。また感想にも「わかりやすかった」「詳細がわかった」「勉強になった」等の意見が多くみられた。
- ・一方で、「マニュアル以外の話も聞きたかった」「症例がもっとほしい」「具体的内容に乏しい」等の意見も見受けられた。

(5) 課題と今後の方向性

- ・胃内視鏡検査の導入への考え方や供給可能量は市町村によって異なることから、検診実施にあたっては、各地域で運営委員会等を設置し、地域の実情に応じた詳細の検討が求められている。
- ・当日の質疑応答では、各市町村の運営委員会等で検討すべき内容に関する質問も多く寄せられた。県統一の研修会だけでは不足する部分については、各地域で補っていく必要がある。医師のみでなく、市町村担当者に対する働きかけも行っていく必要がある。
- ・マニュアルでは、従事者に対する研修は運営委員会の役割として位置付けられている。地域の実情に応じた検診体制の整備のためには、将来的には各地域での研修会への移行が必要であるが、現状では、それを可能とする市町村はわずかである。
- ・市町村単位での研修の実施が難しい地域の医師が、検診実施に必要な精度管理・手技等の知識を習得できるよう、県統一の研修会の実施は今後も必要である。また、本研修会は、胃がん検診の胃内視鏡検査に関心のある医師の掘り起こしにもつながることが期待できる。受講者から要望のあった症例の増加の検討等、研修内容のさらなる充実にも努めていく必要がある。

平成 28 年度胃内視鏡検診従事者研修会 カリキュラム

内容		詳細	講 師
1	検診と診療の違い	検診と診療の違い、対策型検診と任意型検診、胃がん検診ガイドラインの推奨グレード、胃内視鏡検診の不利益としての偶発症の発生頻度及び診療における胃内視鏡前処置に関係した訴訟例、対策型検診の対象年齢や検診間隔、内視鏡検査実施の条件としての胃内視鏡運営委員会の役割・読影委員会による画像評価等、検査実施における確認事項や前処置・標準的撮影枚数等について説明	(公財) ちば県民保健予防財団 診療部診療科部長 山口和也先生
2	胃内視鏡検診の不利益 (偶発症)		
3	実施方法(対象年齢、検診間隔)		
4	精度管理の考え方		
5	内視鏡検診実施の条件		
6	検査の手順① (準備、問診票、同意書、前措置、胃内視鏡検査手順)		
7	検査の手順② (胃内視鏡検査手順)	動画やスライドを用い、撮影の基本原則、標準的撮影方法、意識して観察しなければならない4領域、撮影における留意点、正確な撮影を行うための手技等について説明	千葉県がんセンター 消化器内科内視鏡科部長 鈴木拓人先生
	(胃内視鏡検査手順、危機管理、結果報告)	テキストに掲載されている撮影方法の図には不足部位があるため、追加資料とスライドに基づく標準撮影方法の説明、生検の対象に含まれない病変、不利益(感染症・鼻血・アナフィラキシー等)への対応、内視鏡検査の胃がん発見率、千葉県の胃がんの地域比較や症状有無別の胃がん進行度の違い等について説明	
8	不利益への対策(感染、偶発性)		(公財) ちば県民保健予防財団 診療部診療科部長 山口和也先生
9	内視鏡検診の成績		
10	千葉県の現状		
11	受講者の理解度確認		

平成 28 年度胃内視鏡検診従事者研修会 市町村別修了者内訳

圏域	市町村	受講者(名)
千葉	千葉市	128
東葛南部	市川市	12
	船橋市	18
	習志野市	2
	八千代市	1
	浦安市	1
東葛北部	松戸市	5
印旛	成田市	4
	佐倉市	1
	四街道市	12
	八街市	1
	印西市	2
	富里市	1
山武長生夷隅	山武市	2
	大網白里市	7
	横芝光町	1
	茂原市	1
	長生村	1
安房	鴨川市	1
	館山市	3
	南房総市	3
君津	木更津市	3
	君津市	1
	計	211